

令和8年度 学校報 No13



心ひとつに

校訓 心ひとつに 明日を拓く

教育目標「気づき 考え 行動する」
生徒の育成

美郷町立美郷中学校

令和8年6月26日

文責:校長 美郷中HP⇒

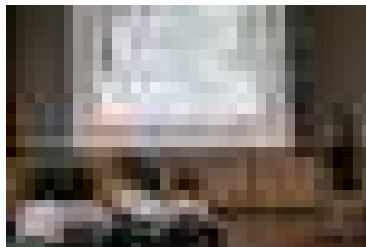


東北大学大学院研究科・農学部の皆様をお招きして ～キャリア教育の推進～

昨年12月に美郷町と東北大学大学院農学研究科が連携と協力に関する協定を締結しました。地域の食料、特産品、農林水産業、食産業及び農山村の諸問題の解決と発展を図り、持続可能な地域社会の構築や産業の振興に寄与することを目的としています。

6月22日(月)に美郷町農政課、教育委員会の計らいで、東北大学大学院農学研究科長・農学部長の〇〇〇〇教授(農学博士)をはじめ、6名の先生方と2名の学生が本校を訪れ、2年生に東北大学農学部や大学院で学べること、学生生活などについてお話いただきました。

農学部には動物、植物、水産物に関する6つのコースがあり、様々な研究をしていること、大学施設の素晴らしさなど興味深い内容でした。学生さんからは自身が中学生や高校生の時の体験を含んだ話があり、「自分の好きなことを見付けてほしい」と本校生徒にエールがありました。これらのお話を受けて、本校の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが質問や感想を述べました。生徒のキャリア形成を促す貴重な時間となりました。



中学生の健全育成のために

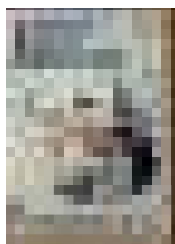


中学生の健全育成のために今週(6月22日～26日)に美郷町少年保護育成委員会(〇〇〇〇会長)と大仙警察署の皆様方が、生徒玄関前で朝のあいさつ運動等を行いました。本校生徒会執行部員、生活委員、応援委員も一緒に頑張りました。

校長も毎朝子どもたちとあいさつを交わしていますが、進んでハキハキあいさつできる生徒に出会うとうれしくなります。一方、小さな声で聞き取れなかったり、表情が今ひとつだったりすると心配になります。あいさつは相手への敬意を示す第一歩であり、社会性を育むためにも必要です。生徒一人一人があいさつの状況を振り返り、「あいさつの美郷」と自信をもって言えるようにしたいものです。

また、25日(木)に“なまはげ”も一緒に健全育成のためのリーフレットやハンドブック

「あなたの明日のために」等を生徒一人一人に配付しました。ハンドブックには社会のルールを守ることの大切さが様々な視点で記載されておりますので、保護者の皆様もご覧になっていただければ幸いです。



前期中間テスト

6月24日(水)に今年度初となる定期テストを行いました。1年生にとっては、出題範囲が広く、1日で5教科を行ったので不慣れな部分があったかもしれません。テスト中は真剣な眼差しで、問題に向かっていました。

本校の定期テストは、年間4回(前後期でそれぞれ中間と期末)です。テストは「日々の授業等で学んだことが、しっかりと身に付いているのか」といった現状を把握するためにあります。そして、結果を受けて、自分自身の取組を改善したり、不十分な部分を補充したりしていくねらいがあります。結果の良し悪しに止まらず、今後の授業や家庭学習の取り組み方にどう生かすかが重要です。「できた・分かった」が「身に付いた」に達するまでには、粘り強さや一定の努力が必要となります。目標をもち、万人に平等である時間を有効に活用することで、さらなる伸長を願っています。

美郷中生の活躍 ⑤

◆吹奏楽部

第68回秋田県吹奏楽コンクール県南地区大会
金賞(全県大会出場権獲得)

